

感染症発生動向調査情報(週報)

2013年48週(11月25日～12月01日)

○ 山梨県内流行情報

第48週は、感染性胃腸炎の報告が全国的に増加し、特に中北保健所管内では定点当たり17.25となるなど、警報レベルである定点当たり20に迫る勢いで増加しています。ノロウイルスは手指や食品などを介して経口で感染し、人の腸管内で増殖し、おう吐、下痢などを起こすため、子どもやお年寄りなどでは脱水により重症化したり、特に寝たきりの高齢者が吐ぶつを誤って気道に詰まらせて死亡する事例も報告されているので注意が必要です。また、RSウイルス感染症についても、中北保健所管内で17件、中北保健所峡北支所管内で3件、富士・東部保健所管内で4件報告されるなど、例年の同じ時期に比べ報告の多い状況が続いております。本格的な流行シーズンを前に、さまざまな感染症予防の標準予防策である手洗い・うがい・咳エチケットの励行、バランスのとれた食事を心がけ、改めて家族全員で体調の管理に留意するとともに、体調が悪いときは無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診しましょう。
【今週の警報】:なし /【今週の注意報】:なし

○ 富士・東部管内流行情報

今後も引き続き、手洗い・うがいを励行し感染予防に努めましょう。

○ 定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	2153	0.44	4266	1.35	1803	0.57	5982	1.9	32550	10.33	5161	1.64
山梨県	1	0.03	24	1	4	0.17	28	1.17	270	11.25	12	0.5
中北	1	0.08	17	2.13	-	-	2	0.25	138	17.25	5	0.63
中北峡北	-	-	3	0.6	-	-	13	2.6	42	8.4	2	0.4
峡東	-	-	-	-	-	-	11	2.75	38	9.5	3	0.75
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	5	2.5	-	-
富士・東部	-	-	4	0.8	4	0.8	2	0.4	47	9.4	2	0.4
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	1856	0.59	223	0.07	1752	0.56	30	0.01	179	0.06	882	0.28
山梨県	2	0.08	1	0.04	4	0.17	-	-	-	-	1	0.04
中北	1	0.13	1	0.13	-	-	-	-	-	-	-	-
中北峡北	-	-	-	-	1	0.2	-	-	-	-	1	0.2
峡東	-	-	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	1	0.2	-	-	2	0.4	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	8	0.01	396	0.58	13	0.03	14	0.03	188	0.4	14	0.03
山梨県	-	-	2	0.22	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.67	-	-
中北峡北	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

○ 山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	48週		47週		46週		44週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	—	—	0.03	1	—	—	—	—	—	—
RSウイルス感染症	増加しています	たいへん流行しています	1	24	0.88	21	0.46	11	0.67	16
咽頭結膜熱	増加しています	平年並みです	0.17	4	0.04	1	0.04	1	0.13	3
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.17	28	1.29	31	1.08	26	0.83	20
感染性胃腸炎	増加しています	平年並みです	11.25	270	6.67	160	4.33	104	3.46	83
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.5	12	0.5	12	0.54	13	0.17	4
手足口病	やや減少しています	平年より少ない発生数です	0.08	2	0.21	5	0.17	4	0.38	9
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	—	—	—	—
突発性発疹	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.21	5	0.38	9	0.33	8
百日咳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ヘルパンギーナ	—	—	—	—	0.08	2	—	—	0.08	2
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.04	1	0.04	1	0.04	1	0.04	1
急性出血性結膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.22	2	0.11	1	—	—	—	—
細菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
無菌性髄膜炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
マイコプラズマ肺炎	—	—	0.2	2	—	—	—	—	—	—
クラミジア肺炎	—	—	—	—	0.1	1	0.1	1	0.1	1

※推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

○ 全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	中北	男	36